



町制施行60周年記念式典 —— 少ない予算で手づくりで

八丈町は、1955年（昭和30）4月1日に八丈村、大賀郷村、宇津木村が合併して誕生しました。11月1日に開かれた町制60周年を祝う式典には、列席者310人が多目的ホールを埋めました。式は3部構成で、山越整務課長と田村久美統括係長の司会で和やかに進められました。休憩をはさんで3時間に及びましたが、随所に工夫のあとが見られ、手づくりで練り上げた有意義な式になっていました。その一部を報告します。

第一部 セレモニー まず「オープニングビデオ」が舞台の大スクリーンに映しだされ、舛添都知事やアラカワ・マウイ郡長など町にゆかりの深い各界の方々からビデオメッセージが届けられました。また八丈島の自然や暮らし、そして八丈町60年の歴史が映像で紹介されました。山下町長、土屋議長のあいさつに続き5人が特別表彰され、その後来賓の衆議院議員、都議会議員から祝辞がありました。

第二部 町歌の発表 町歌は、議会で「町歌がないのは恥ずかしい、作るべきだ」という声があがり実現したものです。私はこれに反対意見をのべました。町制50周年の時に作られた歌は、踊りと合わせて500万円という多額の費用がかかったにもかかわらず住民にほとんど歌われなかったからです。

しかし今回は、長く住民に愛され歌いつがれていく予感がしました。メロディが覚えやすく詩とじっくり合っていたからです。町歌の選考を担当した田村係長がその経過を報告しましたが、多くの人に関わっていたことや広く全国から公募したことが今回の成功につながったと思います。2月に町歌選考委員会が22人で発足し歌詞を募集、絞られた4作品に曲がつけられ、これも4作品に絞られました。町の広報による人気投票や様々な団体の評価をめぐり選ばれた2作品。その2曲が沖縄出身の歌手EPOさんと大賀郷中学校合唱部によって披露されました。列席した全員の投票により選ばれた曲（保岡直樹作詞・高橋一美作曲）が、八丈の住民による作曲だったことを私は誇らしく思いました。

第三部 子ども議会 ホールの舞台を議場にして子供議会が開かれました。三原中、富士中、大賀郷中の三校から選ばれた14人が議席につき、町に対し全員が質問しました（撮影禁止だったのでイメージ図）。

産業の振興や農業・漁業の後継者に関するもの、観光・スポーツ振興に関するもの、身近な通学路の整備や街灯に対する要望など、私たち議員も参考になるテーマが取り上げられました。





2014年9月議会 一般質問



1. フリージアまつりの再評価と新たな方向性について

48回を数えたこのイベントについて、廃止や見直しをすべきという声が毎年上がっていたが、最近まつり会場は、休憩舎ができ物品の販売も行われ賑わいをみせてきた。インフィオラータも好評で、あらたな局面を見せている。今、再評価することが観光振興のために重要だ。同時に現状の課題を洗い出し、解決に向けた努力も必要だ。フリージアは、香りが強く色のバラエティがあり、他の花に代えがたい魅力がある。住民参加の取り組みを町主導で展開してほしい。

(1) 町のどこでもフリージアの花が見られるように、住民参加で道路わきの狭い土地やプランターに植栽し、全島的なイベントにすること。

町 インフィオラータは住民参加でできた。名古屋の展望やえこめぐりまーとでは植栽している。今年度は町役場やふるさと村など町の施設に植栽する。

(2) 会場の休憩舎の拡充、散策路の設置、園芸技術センターの開放。

町 休憩舎の拡充の予定はないが、コンテナを置いて対応したい。園芸技術センターの開放は日時を特定すれば可能。散策路については今後検討したい。

(3) 行政キャラバンは「無駄遣いだ」という批判が多く、改善策を講じるべきと思うが町の考えは。

町 町長キャラバンも花の量も訪問する場所も年々減らしている。

再質問① プランターなら住民参加も可能と思うが。

町 球根の確保も必要なので来年度に向けて努力したい。

再質問② 園芸センターの開放はガイドツアーでぜひ実現していただきたい。会場にパラソルやベンチを増やしゆっくり休める場所を提供してほしい。

町 パラソルなどを増やすことは今年度にむけ検討したい。

再質問③ 削減の努力は認めるが、同行するのはフリージア娘と町長、議長で十分ではないかと思うが。

町長 不愉快だ。不要というならすべてやめてしまえばいい。日頃のお礼というのは建前で、そろって訪問することの意味は大きい。常任委員長としての役割を認識すべきだ。

2. 第6期介護保険事業計画に向けて町は何をすべきか

(1) 来年度事業に向け、まずは地域の特性に応じたニーズの把握が必要だと思うが町の具体策は。

町 在宅サービスの充実のために中長期的な視点が必要と考える。今年は生活圏域ニーズ調査を実施し、毎年民生委員による高齢者実態調査も行っているの、それをまとめて具体策を考えていく。

(2) 制度設計の準備や人材の確保についてはどう解決する考えか。

町 2025年を目途に保険料を推計し、国の基準に沿って設計する。人材の確保については、ボランティアなどで介護保険以外のサービスの提供、初任者研修の開催などで考えていきたい。

9月議会の一般質疑から

- 町立八丈病院の入院病棟の利用率が低下し、病院経営の悪化のひとつの原因となっている。地域包括ケア病床を導入するとのこと聞いたが、予定は。
- 町 亜急性期の方の入院を受け入れる予定はあったが、名称が変わって地域包括ケア病床となった。8床を考えていて60%の稼働を目指している。
- 患者が自宅から院外薬局に処方を書き出すと薬を用意してくれるという。病院内にファックスがあれば、より便利だと思うが。
- 町 院外処方に転換する際、そういう提案もあったが院外薬局の協力が必要となる。その後反応はないので、町からはそれ以上関与しない。
- 新庁舎へのバスの乗り入れはいつになるのか。また、バス停はどこになるか。
- 町 乗り入れ時期については、まだ確定していないので言えない。バス停留所は、新庁舎のロータリー内になる。
- 遠くからもわかるように、新庁舎ホールの上に小さな看板をつけてほしい。
- 町 庁舎のデザインにもかかわるので、検討課題としたい。

町議会選挙

10月14日告示、18日投票日の八丈町議会議員選挙が行われました。

皆さまのご支援のおかげで、私も4期目の議席をいただくことができました。心より御礼申し上げます。

今回は14議席に対し17人が立候補し、そのうち現職11人、新人5人、元1人による文字通りの激戦でした。島の選挙の難しさ、怖さを感じた選挙でもありました。その結果、7期目が1人、6期目が3人、4期目が2人と経験議員が6人、1期目と2期目が合計8人となりました。経験を積んだ議員の責任はより大きくなっています。

私も自他ともに認められる経験議員の一人として、より一層力を尽くさなくてはと心を新たにしました。

中学校記録会

10月8日(水)富士中学校のグラウンドで、管内3つの中学校の記録会が開かれました。当日は悪天候のために中断したので、すべてのプログラムが終了したのは午後5時過ぎ。すっかり暗くなったグラウンドは夜間照明が点灯されました。



毎年中学生が、速さ・距離・高さの記録に挑む大会で、多くの保護者がビデオを片手にギャラリーとして参加します。

季節はずれの北風に凍えながら、新記録ができることを期待して、しばし燃えた一日でした。

❁ 編集後記

今年もあとわずかとなりました。ついこの間、道路脇を彩っていた赤いヒガンバナも、最近では鮮やかな黄色のツワブキに替わっていました。季節の移ろいは早く、クリスマスの電飾がついているお宅があり、年の瀬を感じざるを得ません。

一方、国政では解散、そして師走の選挙。政権が替わってわずか2年なのに、税金700億円を使って何のために選挙するのでしょうか。ささやかな抵抗を一票に託して、怒りをぶつけたいと思っています。